

コスト削減・災害対策・SDGsに対応できるは、LPガス

LPガス導入への後押しが始まっています。

1 いま 電力に必要なLPガス供給設備は補助金の対象

LPガスバルクも補助金の対象になっています。

一般財団法人エルピーガス振興センターは、国からの補助金の交付を得て、LPガスバルク設備の設置に要する経費の一部を補助することになりました。安定した価格のLPガスへのエネルギーチェンジを検討するには好機です。



2 いま 発電機設備の導入に補助金が交付されます

インフラ停止時の避難所として地域貢献が可能です。

補助金対象として求められるのは、「災害時、避難所としての3日間の機能維持」です。本補助事業の目的はあくまで避難所の確保。BCPのみを目的とした申請はできません。しかし、地域貢献としての防災活動は、企業イメージの向上に大きく寄与することが期待されます。



3 いま SDGsへの取り組みが求められています

これからも選ばれる企業であり続けるためにCO2の削減にLPガスの導入を。

国際的に大きな動き「SDGs」。中でも脱炭素社会の形成は、ますますでも取り組みたい課題です。これからのビジネスシーンにおいて、環境問題への取り組みが成されているか否かは、取引先選定の大きな要因となり得るために、環境保全だけでなく、ビジネスに直接影響すると考えます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



災害バルク補助金について

補助金の対象となる設置場所 ※詳細については「エルピーガス振興センター」HPをご覧ください。

避難困難者

災害発生時に避難場所まで避難することが困難な者が多数生じると予測される医療施設や高齢者施設、介護付き高齢者住宅等

●医療施設（人口透析クリニックを含む） ●老人ホーム 等

※ただし、災害拠点病院、救命救急センター、周産期母子医療センターを除く
※医療施設や老人ホームなどは、その施設全体を避難場所とみなすことが可能です。



公的避難所

地方公共団体が災害時に避難所として指定した施設で、地方公共団体等によって所有される公共施設のうち、災害時に避難所として利用されることを予め定められている公共施設

●自治体庁舎 ●学校 ●公民館 ●体育館 等



一時避難所

一時避難所となり得るような施設で民間等が所有する工場、事業所、商業施設、私立学校、旅館、マンションなどの施設、または敷地のうち、地方公共団体が災害時に当該施設を避難所として活用できることを認知しているもの

●工場 ●事務所 ●商業施設 ●私立学校 ●旅館 ●マンション 等



補助金の対象となる設備・機器 ※補助金対象となるには購入が必須となります。 ※振興センター指定品に限ります。

容器部分 (供給に必要な設備)

バルクでの供給



※原則として、平常時にも使用する必要があります。
※災害発生時に備えて、3日以上以上のLPガスを備蓄しておく必要があります。

シリンダー容器での供給



or

燃焼機器 (災害時に必要となる設備) ※購入または自ら設置が必要です。

LPガス発電機



or

LPガス空調機器ユニット



or

LPガス燃焼機器ユニット



or

LPガス簡易スタンドユニット

※災害時および系統電力や水道の供給が途絶した場合でも使用できる必要があります。

脱炭素対策でも使える補助金もあります。詳しくはお問い合わせください。

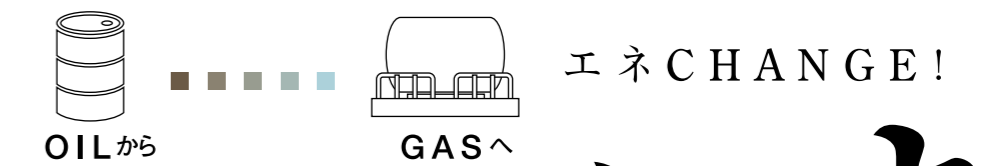
●LNGも取り扱っております。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ

地球の恵みを、社会の望みに。

AW エアウォータ・ライフソリューション株式会社

info-kaihatu-h@awi.co.jp



替えるなら、いま

LPGへの「燃料転換」のご提案

地球の恵みを、社会の望みに。

AW エアウォータ・ライフソリューション株式会社

いま 多くの企業が抱えている課題解決に。

1 オイルからLPガスへの転換で期待される効果

それぞれの課題解決に適したエネルギーとしてLPガスの導入をお勧めいたします。

1 コスト削減 LPガスは経済性に優れたエネルギー。

中・長期的視野でのコストダウンが可能。

ガスは他のエネルギーに比べて、比較的価格が安定している事から、事業計画を立てやすいエネルギーと言えます。高い燃焼効率も、業務の効率化に繋がります。また、ガス機器は経年劣化が少なく、メンテナンスが容易な事から、修理修繕の費用も節約できます。

■エネルギー別の経済比較

	製品輸入価格	ローリー運賃	受入・消費設備	環境コスト
燃料油	小～大	小	小	大
LPG	小～大	小	中	小

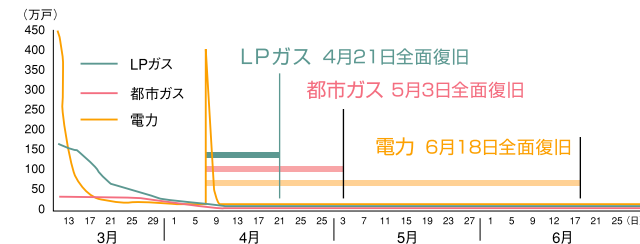
※環境コスト:企業活動によって発生する環境負荷を低減させることを目的とした費用やそれに関する費用のこと。

2 災害対策 災害に強いエネルギーLPガスでBCPを。

復旧の早さと緊急燃料としての優位性。

軽油や灯油は災害初期には入手困難に陥る事や、長期保存で劣化が見られることがあります。LPGは災害時でも、軒先のLPG容器を利用し発電が可能です。また過去の災害時においてもLPGは復旧が早く、停電による業務への支障を最小限にします。

■東日本大震災におけるライフラインの復旧



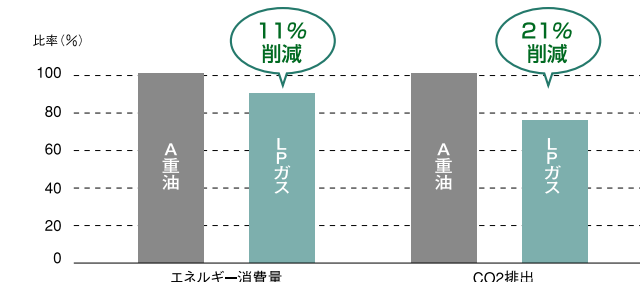
出典「東日本大震災を踏まえた今後のLPガス安定供給の在り方に関する調査報告書」

3 脱炭素対策 LPガスはCO₂排出削減に適しています。

硫黄分・窒素分が少なくススや灰分も出さない。

世界的なCO₂削減の時代情勢からCO₂削減への取り組みは、今後において大切な取り組みです。ガスなら、CO₂の削減はもちろん、硫黄、窒素、灰などの環境に影響を与える物質の排出も少ないので、重油などからの燃料転換を提案しています。

■某社導入事例



コスト削減 燃料高騰が懸念され続ける いま だから。

電気基本料金を低減してコストダウン。

GHP 「ガスヒートポンプ」で実現

デマンドピークを抑えコスト削減。

事業施設全体をガス空調にすることで、電力基本料金を節約し、なおかつ省エネ高効率のGHPで大きな光熱費を削減を期待できます。



■消費電力を約90%カット

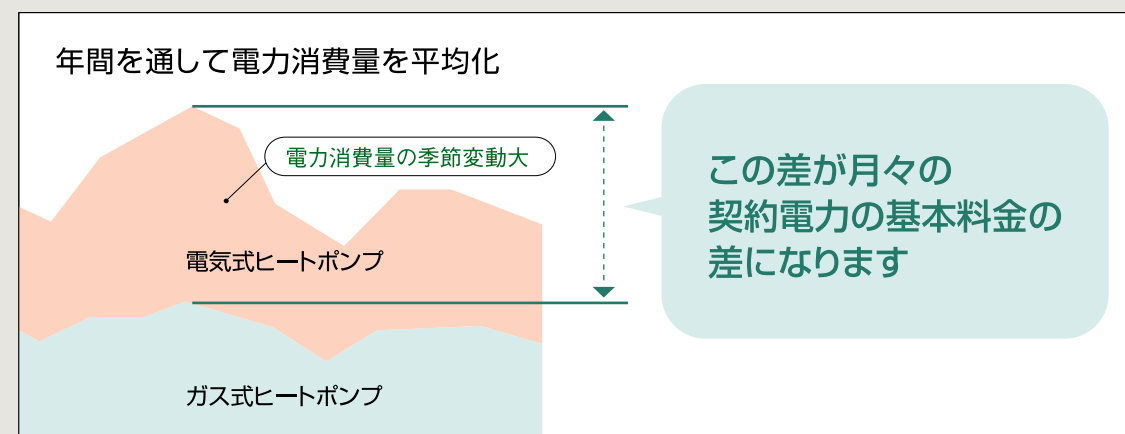
空調のエネルギーの約90%は、室外機に使用されます。ガスで起動するGHPなら、消費電力を大幅にカットできます。

■電力基本料金を低減

GHPなら夏場のピーク時の消費電力をカットできるので、月々の消費電力基本料金を下げることができます。

■ランニングコストを約30%カット

各部品の破損や消耗が少なく、機器の寿命も延長。それにより交換コストや管理の人件費を削減できます。



ご検討は いま

現在お使いの空調機の使用年数が10年以上の場合

空調機的设计寿命は設置後約13年、または運転時間3万時間と言われています。

災害対策 もしもの時のために いま から備える。

インフラ停止時でも業務を稼働。

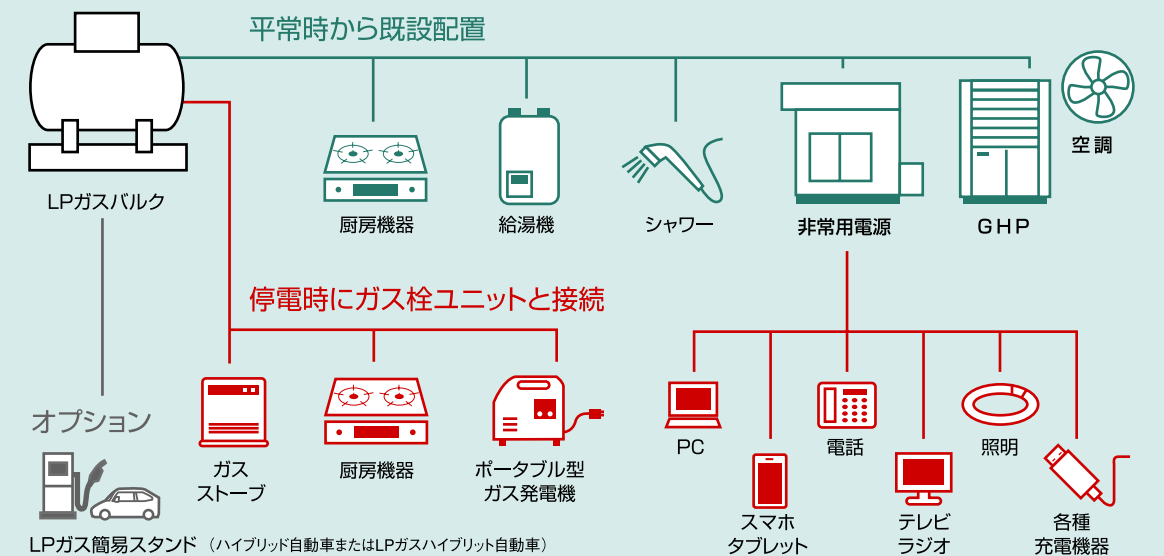
BCP Business Continuity Plan

「LPガスバルク供給システム」とは

インフラ停止時の状況においてもバルク供給により電気やガスなどを安全かつ迅速に利用できます。災害時の避難拠点としても活躍できるシステムです。



LPガスバルクは災害時だけでなく、常時接続で普段から活用できます。



⚠️ 災害発生直後の「3日間」を乗り切るために
災害時は災害発生直後から3日間を如何にして乗り切るかが最も重要なポイントとされています。

LPガスバルク供給システムは約3日間100人分の米飯をまかなう事ができます。

(500kg貯槽に約半分のLPガスが残っている状態)
ガス発電機、ガスストーブ、ガス炊飯器、ガスコンロ給湯器(20号)を使用した場合。

バルク供給対応可能日数

貯槽量	使用可能ガス量	対応可能日数
500kg型	175kg	3.6日
985kg型	347kg	7.1日

ご検討は いま

BCPは、これからのビジネスにおいて、取引先からの安心と信頼を勝ち取る重要な要素となります。